

## インテック

データ通信パッケージ「B-ixServ AS2 Connector」  
国際標準EDIの相互運用性の認定を取得

インテックのデータ通信パッケージ「B-ixServ AS2 Connector(ピックスサーブ エーエスツーコネクター) version 3.0」は、米国 Drummond Group Inc( DGI社<sup>1</sup>)の国際的に認められた相互運用試験を通過し、相互運用性が認定された。  
 「B-ixServ AS2 Connector」は、インターネットEDIの国際標準「EDIINT AS2」<sup>2</sup>に準拠している。既に国内および海外のシステムとの接続実績があり、お客さまの企業間電子商取引や拠点間データ交換を支えている。さらに今回、DGI社の、EDIINT AS2に関する試験に参加、10カ月間に及ぶ仕様適合性試験・相互運用性試験を実施した。相互運用性試験は、インテックを含む15社22製品間で行われ、EDIINT AS2に対する高い仕様適合性と相互運用性が確認された。これにより、取引先とのEDI開始時に起こり得る通信上の問題発生リスクを抑えることができる。インテックは、お客さまのインターネットEDIのスムーズな導入をサポート、インターネット活用型EDIを推進していく。

<sup>1</sup> : Drummond Group Inc.  
B2Bソフトウェアの世界的な認定機関。1999年に設立され、多数の国際的なソフトウェア製品の相互運用性試験や適合性試験を実施している。

<sup>2</sup> : EDIINT AS2  
Electronic Data Interchange-Internet Integration Applicability Statement 2。  
IETF(インターネット技術の標準化組織)で標準化されたインターネットEDI標準。RFC4130として公開されている。

お問い合わせ先:インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398

## ネクスウェイ

## ネクスウェイとココヨS&amp;T 帳票配信分野において協業

ネクスウェイは、ココヨグループのココヨS&T株式会社と帳票配信分野で提携し、エンタープライズ向けクラウドサービス「企業間帳票流通基盤サービス」の提供を8月から開始した。

同サービスはネクスウェイの「FNXe-帳票FAXサービス」と、ココヨS&Tのビジネス文書流通・公証プラットフォームサービス「@Tovas」を連携させたもの。企業間の見積・注文・請求など一連の業務の伝票処理を自動化・電子化することで、取引業務の全体最適とコスト削減を実現。証跡記録も証明できる帳票配信基盤システムをインターネット経由で安価に提供する。郵送の場合、FAX配信への切り替えで約10分の1、電子配信への切り替えでは約20分の1までコストが削減できる。両社の提携によりクラウドサービスの実績・ノウハウを結集し、今後もお客さまのコスト削減やセキュリティ強化などの高い要望にお応えしサービス拡充を行っていく。

お問い合わせ先:ネクスウェイ 企画部(広報担当) TEL:(03)4541-1626

## インテック

浴衣を新調し、  
地域イベントに参加

インテックグループの社員会「計和会」は、地域の行事への参加時に着用する浴衣を新調した。毎年、富山市で開催される「富山まつり」の越中おわら踊りをはじめ、各地域で夏祭りに参加している中で、近年、地域イベントへの参画意識が高まり、参加者が増加したため新調した。男性用はブルー、女性用はピンクを基調とした鮮やかな色合いが特徴。正面下にINTECの文字が筆記体で入っている。



8月8日に開催された第49回富山まつりには、約150人の社員が参加し、夏の夜を大いに盛り上げた。

「.日本」、来年早期の実現をめざす  
日本インターネットドメイン名協議会が正式発足

総務省情報通信審議会における答申を受けて設立準備を進めてきた「日本インターネットドメイン名協議会」は、9月25日設立総会を開いて正式に発足し、同会長には、テレコムサービス協会会長である中尾会長が就任した。同趣旨に賛同した通信、インターネット関係などの16の組織、団体などが会員となり、また、総務省、日本経済団体連合会がオブザーバとして参加する。



## 設立目的

1. 日本語国別トップレベルドメイン(TLD)「.日本」に対する、民間主導による公正・中立な管理運営の仕組みの確立
2. 地理的名称に関する新たな分野別TLD(地名TLD)導入の円滑化
3. ドメイン関連市場の健全な発展への貢献
4. 国際的な協調活動への貢献

これまで、インターネット上の住所の最上位にあたるトップレベルドメイン(TLD)については「.com」など英数字とハイフンしか使用できなかったが、インターネット資源を管理する国際団体のICANNにおいて、アラビア文字など世界のほとんどの文字も含めた「多国文字ドメイン名」が2010年にも実現する運びとなった。

同協議会では、多国文字ドメイン名の持つ公益性をふまえ、政府と協力しながら「.日本」を運営する事業者を公募によって選定・監督することをはじめ、「富山」などの自治体や地域のドメイン名の円滑な導入を支援する活動などを行っていく。

ICANN: Internet Corporation for Assigned Names and Numbers 1998年設立、本部を米国に置く国際団体

## インテック

## 北陸電力とDC事業会社「パワー・アンド・IT」を設立

インテックは、北陸電力(富山市)と8月11日、共同でデータセンター事業を行う「株式会社パワー・アンド・IT(アイティ)」を設立した。

新会社では、平成23年4月を目途に、お客さまから高性能コンピュータやサーバ、通信機器などの情報通信システムをお預かりし集中管理する総合的なデータセンター事業を開始する。



左からパワー・アンド・IT 大庭社長、北陸電力 永原社長、インテック 金岡社長



富山市南部に建設予定の次世代型データセンター

事業展開にあたっては、

インテックが持つシステム構築力、データセンター運用技術、ネットワーク構築・運用技術  
北陸電力が持つ無停電対策など電源の信頼性や耐震性に関する知見、データ伝送等の情報通信技術

これら両社の経営資源を存分に結集・活用させ、お客さまのニーズに迅速・的確にお応えし、地域の産業振興に貢献していく。

平成22年度中を目途に、地域情報基盤として大規模かつ堅牢性に優れ、北陸地域では最高レベルの信頼性・省エネ性を誇る「次世代型データセンター」を、富山空港・北陸自動車道等から近く、交通利便性の高い富山市南部に建設する。

なお、インテックの高柳参事が同社取締役役に就任した。

## インテック

## ID管理ソリューションに新機能追加

インテックは、企業内の様々なシステムのID情報を一元管理するID管理ソリューション「結人(ゆいと)」「東人(そくと)」の最新バージョンを7月に発売開始した。本バージョンからネットワーク上の各種資源情報(PCやプリンタ、ユーザ情報等)を一元管理するActive Directoryのパスワード情報を同期可能にする、「Password Agent」機能をオプションで提供している。

「Password Agent」は、Active Directoryに接続されたユーザのパスワード情報の変更を結人・東人に取り込み、連携先の各システムへ自動同期する。これによりシステム利用者は、Windows標準のパスワード変更機能で、他の連携先システムのパスワード情報も意識することなく変更することが可能になる。



お問い合わせ先:インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398

## ネクスウェイ

## 「子供参観日」を開催

ネクスウェイは8月19日、「子供参観日」を開催した。家族が実際に働いている会社で、子供たちに「働く」とはどんなことなのかを体感し、興味をもってもらふことや、親子の絆を深めることなどを目的として開催した。幼児、児童から、大学生まで幅広い年齢の子供10名と、その家族が参加した。フロアを回っての名刺交換や、原稿を自分で作成しFAX送信するなどの体験をした中で、子供たちからは「家のお父さんとは違うなあ(小学生男子)」といった声や、「自分が勤めるようになったら、子供を会社に連れていきたい(大学生男子)」などの感想が寄せられた。最後に富加見社長から一人ひとりに名前入りの修了証が渡された。

ネクスウェイでは、今後も学校の夏休み期間に、子供参観日を継続的に開催していくことを予定している。

FAX:ネクスウェイが提供している、伝えたい情報を、FAX・メールなどで一斉に多くの宛先に送ることができるサービス



## キーポート・ソリューションズ

## 投資および景気動向に関する第1回「定点観測レポート」発表

キーポート・ソリューションズが運営する投資情報サイトK-ZONEは、8月に個人投資家を対象とした投資および景気動向調査に関する第1回「定点観測レポート」を発表した。

証券口座開設の際の重視項目や人気の証券会社、今後チャレンジしたい金融商品など、金融および投資に関心の高いK-ZONE会員を対象とした定点観測を実施し、個人投資家視点の中立的でオリジナリティの高いレポートとして、K-ZONEサイト上に今後3か月に1度のペースで発表していく。

定点観測レポート  
<http://k-zone.co.jp/survey/report.html>

お問い合わせ先:  
キーポート・ソリューションズ  
ケイソンオペレーションチーム  
TEL:(03)3523-8639

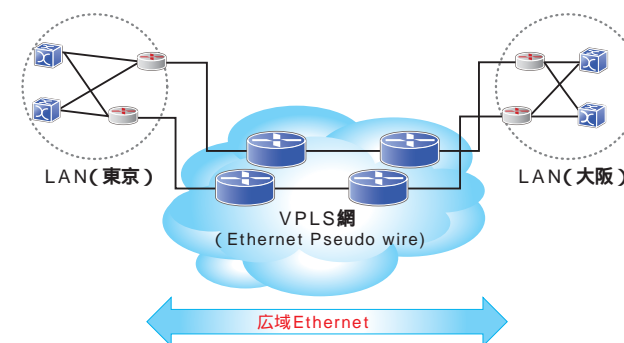
## クラウド・スコープ・テクノロジーズ

## 日本初、広域 Ethernet 網の「見える化」監視を実現

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、PATHMANAGER VPLSモジュールを6月から提供開始した。

VPLS(Virtual Private LAN Services)は、離れた拠点のLAN(Local Area Network)をEthernetで通信させる広域 Ethernet 技術。物理的な距離を意識することなくネットワーク上の種々のサービスを利用できるため、多くの企業や大学で利用されている。しかし、VPLSを構成する疑似回線の状況を把握することが難しく、VPLS運用上大きな課題となっていた。

今回新しく開発した「PATHMANAGER VPLSモジュール」により、VPLS網の監視・管理をより容易に行えるようになる。



お問い合わせ先:クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL:(03)3403-8321

## インテック

## オープンガバメントクラウド・コンソーシアムへ参画

2009年6月10日、クラウドコンピューティング技術の業界標準規格を定めて広く普及させ、日本のIT環境を世界最高レベルのものへと向上させるため、オープンガバメントクラウド・コンソーシアムが発足した。インテックはIT基盤構築、ネットワーク、およびアウトソーシングの高い実績を有する企業として、クラウドコンピューティングの共通基盤構築を支援するため、本コンソーシアムに参画した。

クラウドコンピューティングは、利用者がソフトウェアやデータを保有してシステムを利用する従来の形態ではなく、ネットワークを経由したサービスとしてシステムを利用する形態。利用者側はPCや携帯電話などの利用端末と、インターネットの接続環境を準備するだけで、ソフトウェアやデータの管理が不要となる。

インテックでは、コンソーシアムを通じて、クラウドデータセンターや、SaaSに関する意見発信を行うとともに、これらの技術を実装したサービスを展開していく。

お問い合わせ先:インテック 首都圏本部 公益事業推進室 TEL:(03)5665-9962

## インテック

## 病理部門パッケージの最新版「EXpath III」販売開始

インテックは、大規模病院の病理部門における診断作業、工程管理、統計処理などを支援する病理・細胞診検査業務支援システム「EXpath III」を、6月から販売開始した。

インテックでは1996年より全国の国立病院、大学病院を中心として50施設以上に病理支援システムを提供してきている。「EXpath III」は、2003年に発売した「EXpath II」から、豊富な導入ノウハウを生かし、さらに使い易さを向上。直感的な画面構成や利用者ごとのレイアウト設定を実現し、オペレーションを軽減することで簡単に欲しい情報にアクセスすることが可能になった。さらに情報アクセス管理機能や情報漏洩対策を強化するとともに、病理部門内のポータルサイトの構築、スケジュール管理機能を実現し、コミュニケーション機能も強化している。

## EXpath IIIの主な新機能および機能強化点

使い易くなったユーザインタフェース  
直感的な画面構成  
利用者ごとのレイアウト設定

情報セキュリティの強化  
情報アクセス管理機能  
情報漏洩対策を強化

病理部門のコミュニケーション強化  
病理部門内のポータルサイトの構築  
スケジュール管理機能

公式ホームページ  
<http://www.intec.co.jp/service/medical/expath/>  
お問い合わせ先:インテック プロダクトシステム部  
TEL:(03)5665-9799

## インテック

高岡ビル建設工事現場フェンスに  
新高岡駅周辺完成イメージ図を掲載

来年8月完成を目指して工事を進めているインテック高岡ビル(仮称)の建設工事現場フェンスに描かれた、北陸新幹線新高岡駅周辺の完成イメージ図が、2014年度末までに予定されている新幹線開業のムード盛り上げに一役買っている。

高岡市京田で建設を進めている工事現場では、高さ3m、幅約90mのフェンスに、インテックのビル完成予想図と共に、新高岡駅(仮称)完成時の周辺イメージ図と新幹線のイラスト、瑞龍寺、高岡大仏が描かれている。

当初、フェンス面にはビルの完成予想図と共に、高岡市の花、鳥などを描く予定であったが、高岡市側と相談した結果、新幹線駅の予定地周辺にふさわしい新駅の完成イメージ図を描くこととなり、あわせて高岡市を代表する観光名所

である瑞龍寺と高岡大仏のイメージ図も入れることとした。



## キーポート・ソリューションズ

## FXシステムトレード「Cetus」開始

キーポート・ソリューションズが運営する投資情報サイトK-ZONEは、10月からFXシステムトレードサービス「Cetus」を開始した。

システムトレード(シストレ)とは、あらかじめ決めた一定のルール(ストラテジー)に従って機械的に売買を行う方法。感情に振り回されることで安定した収益が上がらない個人投資家をサポートするツールとして注目されている。

Cetusではプログラミング言語等の習得が必要なプロ向けサービスとは異なり、Webからの簡単な操作でストラテジーの構築・検証を行うことができる、新しいタイプのシストレサービスを提供する。2010年12月までに10,000人の無料会員登録を見込む。K-ZONEは様々な金融商品取引サービスと独自性の高いシミュレーションにこだわって、金融業界の活性化につながるサービスを展開していく。

お問い合わせ先:キーポート・ソリューションズ ケイソノオペレーションチーム  
TEL:(03)3523-8639



<http://www.k-zone.co.jp/cetus/>

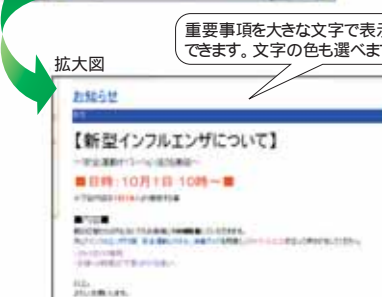
## ネクスウェイ

多店舗運営支援ポータル「店舗matic」、  
機能追加でさらに使いやすく進化

「店舗matic」はネクスウェイが提供・販売を行う多店舗運営支援ポータルであり、ドリーム・アーツ(東京都渋谷区)が開発・運用している。お客さまの要望にSaaSならではの頻繁なバージョンアップでお応えし進化を続けているが、7月、本部から各店舗の特定のスタッフにのみ連絡事項を送達する機能など50の新機能を拡充した。これにより多数のスタッフを抱える大規模小売店のニーズに、より適合した情報共有や業務管理が可能となった。9月にはリッチテキスト機能を追加し、指示・通達の文字色や大きさを自在に変更することで、重要度や緊急度に応じてより効果的に情報を伝えることが可能となっている。「店舗matic」は効率的・魅力的な店舗運営を支援していく。

SaaS( Software as a Service )ソフトウェアの機能を、ネットワークを通じてサービスとして提供する仕組み  
お問い合わせ先:ネクスウェイ 企画部(広報担当) TEL:(03)4541-1626

【リッチテキスト形式の「お知らせ」のイメージ】  
本部用 画面イメージ



## インテック

F<sup>2</sup>(エフキューブ)mobileの次期バージョンを発売開始

インテックは、金融機関向け顧客情報管理(CRM)システム「F<sup>2</sup>(エフキューブ)」の携帯電話ソリューション「F<sup>2</sup>(エフキューブ)mobile」の次期バージョンを10月から発売開始した。横浜銀行、NTTドコモ、NTT PCコミュニケーションズとの4社共同で進めてきた実証実験を踏まえ、店内外における渉外業務支援に有効な機能を実装するとともに、アプリケーションのセキュリティを向上させた。

携帯を通じて、預かり資産などお客さまの取引状況把握が可能になり、対面セールスにおけるお客さまの様々なニーズに対して的確な提案ができる機能を実装している。セキュリティ対策機能強化では、起動認証時に複数回失敗した場合のデータ消去機能や、一定時間無操作が続くと内部データを削除する機能などを標準で装備し、端末側での生態認証機能と合わせて堅牢性をいっそう高めた。今後、全国の金融機関向けに2年間で20セットの販売を目指す。

お問い合わせ先:インテック 金融ソリューション事業推進部 TEL:(045)451-2424

## インテック

湘南で  
地域WiMAXサービス開始

インテックなどが出資しているオープンワイヤレスプラットフォーム合同会社(神奈川県藤沢市)は、藤沢市湘南台地区における地域WiMAX通信サービスを9月17日より開始した。

同社は地域ワイヤレスアクセス事業の提供のため、(株)インテック、(株)ジュピターテレコム(J:COM)、(株)ブロードバンドタワー、(株)ワイドリサーチほかの出資を受け本年3月に設立。その後6月に、総務省関東総合通信局より神奈川県藤沢市における「2.5GHz帯を用いる広帯域移動無線アクセスシステム(地域WiMAX)」の無線局免許を取得し、事業開始に向けて設備の準備を進めてきた。

当初事業は、藤沢市湘南台地区において学術機関、地方公共団体、商店街等との相対契約を主体として推進していく。第一号の利用者は、慶應義塾大学SFC研究所。

オープンワイヤレスプラットフォーム合同会社  
<http://www.openwp.net/>

サービス展開地域:神奈川県藤沢市  
サービス提供エリア:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス周辺から湘南台駅方向に向かって3.2km

## フラッシュニュース

## ネクスウェイ

全国のJALUXの空港店舗「BLUE SKY」の新小売システムにSVFとFNX e-帳票FAXサービス」採用(6月29日)

## インテック

テクマトリックスとID管理製品に構築費用をバンドルしたパッケージを共同開発(7月15日)

## 北国インテックサービス

創立30周年記念講演会を開催(9月8日)

## キーポート・ソリューションズ

外国為替証拠金取引シミュレーションゲーム「FXトレダビ」を提供開始(10月1日)

## インテック

電気自動車を導入  
環境問題へ積極的取り組み

CO<sub>2</sub>削減をはじめとする環境問題への企業の取り組みの一環として、

インテックは三菱自動車は今夏発売開始した電気自動車「i-MiEV(アイミーブ)」を富山本社に8月から1台導入した。

主に信号での停止や短距離走行の繰り返しなど、ガソリン車では無駄な燃料消費が増える市内での移動用途に積極的に使用している。従来の社用車と比較した場合、走行中のCO<sub>2</sub>排出量はゼロとなり、充電時を含めてもガソリン車の1/3~1/5。またコスト面でも1kmあたりの走行距離が1円(深夜電力利用時)となることから、長期的にランニングコストの削減が見込まれる。インテックはビルの屋上緑化などと併せて、環境問題に積極的に取り組んでいく。

